

和歌山県立医科大、 20年度医学部定員 25人(42%)増の 85人に！

増員 5人は県内枠で返還免除の奨学金支給、
20人は県内病院勤務の誓約書提出

旺文社 教育情報センター
19年10月24日

医師不足や偏在などを解消するために急遽打ち出された『緊急医師確保対策』（以下、緊急対策）については、当Webサイト(07年10月18日付け；下記URL参照)でお知らせしたとおりである。

この「緊急対策」を受け、20年度医学部(以下、医学科に限定)定員について現在、公立8大学中、6大学で定員増に向けた具体的な検討を行っているが、和歌山県はこの程、和歌山県立医科大の現行の定員60人を20年度から85人(41.7%増)にすることを決定した。

大学としては明日(10月25日)午後、HP上で選抜方法等の詳細を発信し、11月上旬配付の「募集要項」に掲載するとしている。

25人増のうち、5人(「緊急対策」の県内枠)は和歌山県内の高校出身者に限定され、知事が指定する医療機関勤務を条件に“返還免除となる奨学金”が支給されるという。残り20人(「緊急対策」の大学枠)は県内中核病院勤務の“誓約書提出が条件となるが、奨学金の支給はない”ようだ。都道府県に対する「緊急対策」の条件としては、奨学金支給が提示されているが、その適用は5人に限定されるようだ。

和歌山県立医科大では増員の25人に対し、地域医療などに対する特別なカリキュラムを編成するとともに、4割増となる学生の受入れに対し、教室の増改築など、設備整備を急ピッチで進めるという。

なお、医師養成数が少ない県として和歌山県と同じく、神奈川県横浜市立大一医(現在定員60人)も「大学枠20人増」の方向で検討中だが、神奈川県と横浜市の2つの関係機関が絡んでいることなどから、現時点では決定に至っていない。

*当WebサイトのURL；

大学進学 INFORMATION 「パスナビ for Teachers」

<http://passnavi.evidus.com/teachers/>